



東実同窓会報

No.37

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会広報部
<http://www.tojitsu-dosokai.com>

新たな時代を共に歩む 同窓会を目指して



会長 酒井 利夫 (第53期)

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

卒業してからの年数や、今いる場所、仕事や生活スタイルは人それぞれですが、私たちは皆同じ校舎で笑い、悩み、学んだ「東京実業高等学校の卒業生」です。忙しい毎日の中では、母校や同窓会のことを思い出す機会は多くないかもしれません。それでも、ふとした瞬間に学生時代の記憶がよみがえり、今の自分を支えてくれることがある、そんな経験をされた方も多いのではないのでしょうか。

社会は大きく変わり、働き方や価値観、人とのつながり方も多様になりました。SNS やオンラインが当たり前になり、世代間の距離感も以前とは違っていています。そうした中で、同窓会も「昔ながらの集まり」のままで良いのか、改めて考える時期が来ていると感じています。これからの同窓会は、無理に参加するのではなく、「ちょっと気になるから覗いてみる」「何かあったときに思い出せる」そんな、緩やかで温かいつながりの場でありたいと

思っています。

若い世代の皆さんにとっては、先輩たちの話がヒントになることもあれば、逆に新しい発想や行動力が、同窓会に新しい風を運んでくれることもあるでしょう。立場や年齢に関係なく、互いに刺激を受け合える関係こそが、これからの同窓会の魅力になるはずです。

「何が出来るか分からない」「参加していいのかな」と思う必要はありません。出来る形で、出来るタイミングで関わっていただければ十分です。

同窓会は、会長や役員だけのものではなく、同窓生一人ひとりの存在によって成り立っています。これからの時代を、懐かしさだけでなく、今と未来につながる形で、皆さんと一緒に歩いていけたらと思っています。

今後とも、どうぞ気軽に、そして長く同窓会と関わっていただければ幸いです。

結びに、母校のさらなる発展と、同窓生の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。



～ふれあいと語らいの同窓会～

東京実業高校同窓会では、同窓会のネットワークを通して会員相互の好誼を厚くし、母校の興隆を図ることを目的としております。

<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

令和7年を振り返って



理事長 上野 雅子

地球温暖化といわれて久しいですが、令和7年の夏の暑さは異常な暑さで、それも晩春の頃からずっと続き、7月8日には、体温を超える暑さの日もあり、外出を控える程大変な夏を過ごした人々も多かったのではないかと思います。CO₂の削減がなかなか思うようにはいかない現状では、この先の夏の暑さにも耐えなければならないことでしょうか、願わくば、これ以上の気温になりませんよう祈るしかありません。

さて、今年度の学校内の様子をお伝えしますと、今年度は東実から交換留学として生徒と教諭総勢9人が、コロラド州ボルダー地区の高校へ渡米しました。日本も今では生活様式や食事などほとんど米国と変わらない生活を

していますが、その国へ行き直に体験すると、また違った文化があることが分かり、驚くことや楽しいことを沢山経験し、自分の視野が広がったと自覚したようで、経験こそが真の勉強であると思った次第です。ほんの一部の生徒しか経験することが出来ませんが、この学校の特色として、これからもこの交換留学制度を大切に国際的に活躍する人材を育てていければと考えております。

また気候変動による学校行事なども、今迄では異なる対応を常に考えていかなければなりません。体育祭などは外での挙行が難しくなってきました。今年度は駒沢体育館での屋内で行われましたが、時期の問題、場所の確保、熱中症対策、急な天候不良等不測の事態が多く、青空の下、元気に飛び廻る運動などが、これから先少なくなるのでは？と危惧しています。長い歴史の中で地球も変化し、社会も変わり、人間の意識も変わってきます。機械文明も益々発展し、便利になる一方で、人間本来備わっている身体の部分、器官等がどんどん衰えてゆき、環境に順応した型が変わってゆくのでは？と、遠い将来の人間社会を想像する今日この頃です。反面、若人達の活躍や社会貢献に携わっている若者達の報道を見聞きしますと、頼もしくこの若者達が将来の地球を守ってくれるのではないかととても嬉しくなります。

願わくば、この学校からも数々の有望な生徒達が巣立っていきますよう、同窓生の皆様の御協力と温かい御支援をよろしくお願い申し上げます。

(令和7年11月20日 記)

東実の早春賦



学校長 田中 清江

令和七年度も早くも終わろうとしております。新年度の準備も進んでいる今日この頃でございます。その中で100年余り続く本校における教育活動は向こう100年に向けても流れていきます。

校長を努めて二年目になりますが、本校の生徒、東実生の資質を挙げますと、率直さと素直さです。隠し事や裏表がない。変なプライドをもっていない。失敗したことを潔く受入れる力がある。そして、やり直す力がある。

その素直さをもった生徒が健かに成長する百年の校風。わたしの「東実推し」です。

さて、文明社会がいくら発展しても変わらないものが必ずあります。こころ、喜怒哀楽の感情です。ときに人間はこの心に翻弄されます。そして、そのなかで自分の本当の心、「まごころ」に気づかされます。東京実業高等学校は生徒ひとりひとりが自分の「まごころ」に気づき、そこから志を立て、生涯にわたり強い意志をもってやり抜く人格を育てたいと考えております。人生に正解はひとつではありません。成功も失敗も含め、全ての体験が人生そのものです。正解かどうかは、ひとりひとりの「まごころ」が決めます。日々生徒の心に寄添い、生徒全員が力強く成長することを東実の全職員が支援します。

そして、「まごころ」を込めて相手を思いやり、互いに親しみ和む。いかなる困難に直面しても挫けることなく、意志強く最後までやり抜く。同校の建学の精神である「不撓不屈 親和誠実」は日常の雰囲気として校内に息づいています。100年の歩みと、あたらしい100年にむかって一年一年を実直に歩みつつけるように。

(令和7年11月16日)

学校の近況報告



副校長 宮田 宏輔

以下、田中校長が推進する学校改革の取り組みを中心に学校の近況を報告いたします。

1. 在籍

新入生 315 名 (前年度 268 名・47 名増)

在校生 839 名 (前年度 801 名・38 名増)

2. 進路 (卒業生 232 名)

大学 125 名 (54%)

専門学校 73 名 (31%)

就職 22 名 (10%)

その他 12 名 (5%)

3. 成績会議

学期ごとに成績会議を開き、成績不良の生徒を個別指導します。学期内に赤点を解消します。また3学期の学年末は、進級判定会議のあと個別指導し、さらに進級判定会議を開きます。留年者を出さない。ただし簡単に単位を認定しない。全教室掃除したら進級する。野球部だから留年しない。東実武勇伝(笑)は致しません。

4. 定期試験

教務部が全試験の内容を検討する。ふりかえる。簡単すぎる。昭和の時代から変わらない。開始5分後に寝てしまう問題。全教科で改めます。

5. 哲学対話 (2025年4月開始)

対象は1年生・全クラス。思考力を養うためのプログラム。10名程度が車座になり、日常の疑問を出し合い「問い」を立てて対話します。発言しなくてもいい。他者の発言を聴くだけでもいい。まとめない。結論を出さない。ひとりひとりが「問い」を深く考える場です。

月1回、授業の時間に行います。現役の大学院生がファシリテーター(場をつくる人)を務めます。

★ファシリテーター

上智大学・東京学芸大学・千葉大学・日本女子大学・文教大学・明治大学・國學院大學

6. ゼミ「総合型選抜入試講座」(2025年6月開始)

希望者は月2回、放課後90分のゼミに参加することができます。学期ごとに地域探究のフィールドワークや大学の研究室訪問を行います。哲学対話の実践になります。

7. フェニックスプログラム (2022年開始) 4年

対象は1年生・全クラス。東実オリジナルのキャリア教育。週1時間の授業、また毎日帰りのホームルームで取り組みます。

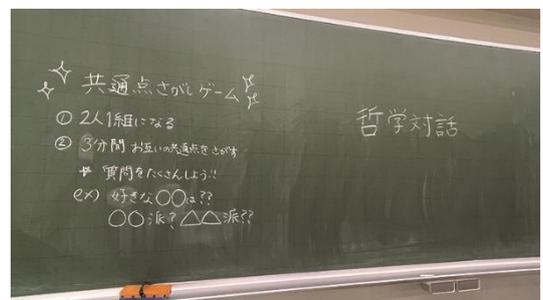
いま持っている興味や関心、自分の強みや弱みなどをワークシートを用いて一人一人が発見し、そこから未来の自分をデザインしてライフプランを立てます。学年の終わりに、クラスの中で、また学年の中で自分のライフプランをプレゼンテーションします。

★生徒が主体性を持って、自分らしく学ぶ。フェニックスプログラムと哲学対話の両輪で生徒の学ぶ意識、また教員の教育観を一新します。

8. 交換留学制度 (1967年開始) 58年

今年は東実生7名と引率教員が渡米し、4月19日から5月30日までの約6週間、コロラド州ボルダー地区の姉妹校生の家庭にホームステイして、言語・文化・生活習慣を体験してきました。

以上、創立103年の東実を同窓生にご報告いたします。



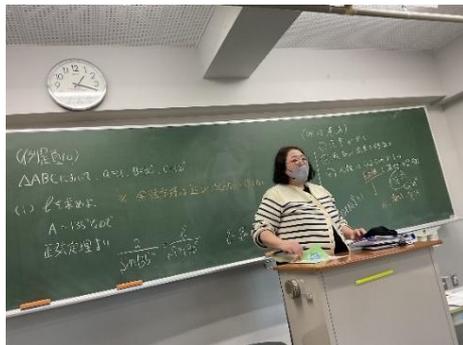
普通科特別進学コース

校外学習

教師 1 人生徒 5 人

特別進学コースの特徴と近況

私たち特進クラスには放課後講習という他のクラスにはない大きな特徴があります。この放課後講習では大学受験に向けて英・国・数の三教科を通常授業と同様の五十分授業で行っています。このように週の三回を七時間程にすることによって学校で勉強をする時間が増え、勉強することを習慣とするのに繋げることができます。こうして一年生のうらから日々の勉強を癖づけ、大学受験の糧にしていきます。また夏休みなどの長期休暇にも夏期講習として通常授業を実施することで休日によって習慣をリセットしてしまう心配もありません。その他にも放課後を利用し、博物館や社会見学をすることで将来へ向けて視野を広げる取り組みをしています。こうして徹底的に大学受験への取り組みを広げ、少しでも早くから行動することで未来の自分が一生の後悔することを防ぎます。



また二学期の終わりが近づいてきた最近では文理選択をそれぞれが終え、本格的に将来のための勉強が始まります。毎週行われている放課後講習にも変化がありました。英語では総合型や一般に向けて本格的に長文読解の練習が始まり、国語ではより実践的な問題や有名大学の過去問を取り込むようになりました。そして数学では来年一段と難しくなることを予測し、ペースアップをして内容を進める等の対策を行いました。そして入学当初とは違い、だんだんと点を取るのが難しくなった定期テストではみんなが真剣にテスト勉強を始め、生徒同士で情報交換をしたりと、試行錯誤をしています。

もちろん勉強が全てではなく、クラス内にはサッカーのクラブチームに所属している生徒や東京実業高校独自の取り組みであるフェニックスプログラムに参加している生徒が半数います。このフェニックスプログラムでは学校説明会などで積極的に立候補し、人と関わる大切さを学ぶことができました。

私たちのクラスの特徴の一つとして校外学習があります。この校外学習では少人数ということを生かして、遠目の大学へ足を運ぶことができます。実際に私たちは体育祭が終わった夏休み前にちょうど日本に来ていた留学生のダイス君と一緒に早稲田大学のキャンパスに見学に行きました。そこでは各々の興味ある学部のパンフレットをもらったり握手すると早稲田大学に縁ができるという坪内逍遙の像と握手をしました。他にも学校へのお土産を買ったり、自由時間では大学内の図書館などを見学しました。

また最近では働くことについての授業をしたのでその派生で金融ミュージアムに行きました。そこにはこれまでの金融界を育ててきた世界の偉人たちについて詳しく知ることが出来ました。また女性の社会進出に貢献した人、ダイバーシティを調べている人などの社会的に重要な人物そして古代の思想家などどれも興味深いことが盛りだくさんでした。



他にも為替の仕組みや歴史について詳しく紹介されていたりミニゲームで一ヶ月の生活費の使い方シミュレーションをしたりと、お金について深く考えることが出来ました。またこの金融ミュージアムが東京駅の近くにあったため自由時間に皇居を見に行ったり有名な平将門の首がある首塚も見に行きました。残念ながら皇居は周りから少し見て回ることしか出来ませんが、周りの石垣の大きさに驚きました。こうして身近にある歴史的に名のある場所を見に行くことは学生である私たちにとって大変良い刺激になりました。



総合進学コース

【Ⅰ類・Ⅱ類】

1類は勉強に力を入れたい生徒が多く、授業の進度も速いコースです。テストや課題が多く大変なこともあります。努力した分だけ成果が見えるため、やりがいがあります。周囲の意識も高く、良い刺激を受けながら学ぶことができます。一方で、課題やテストが重なると部活動との両立が難しい場面もありますが、やり切ったときの達成感は大きく、自然と努力する力が身につきます。

2類は勉強と学校生活のバランスが取りやすく、自分のペースで進路を考えられるクラスです。自分のやりたいことを見つける時間を確保しやすい一方、1類に比べると勉学に意欲的でない生徒も多く、意識を持たないと流されやすい面もあります。しかし、その中で「自分から行動する力」が育つのが特徴です。

他のコースと比べると、特進ほど勉強に追われず、ビジネスや工業系のように専門的でもありませんが、その分、将来の選択肢が広いことが魅力です。総合進学コースの1類・2類はまさに、「自分で考え、行動し、進む力」を育てる場所です。



【生徒会】



生徒会会長の田村瑞希です。

生徒会では1年生4名、2年生3名、の計7名で活動をしています。私たちは生徒一人一人が、学校生活の主体者であるという意識を持ち、より充実した学校生活を自分たちの手で作っていただけることを目標にしています。主な活動内容は体育祭の企画、運営や東実祭での受付、蒲英公の作成などの様々な仕事を行っています。生徒達の要望に応えられるような学校にするため代議委員や教員の方々と協力して行きます。

華道・茶道部

講師2人 顧問1人 部員数3人



私たち花道・茶道部は3人という少人数で活動しています。3人とも初心者という状況に中それぞれが講師の先生の教えを必死に楽しみながら日々を励んでいます。週一だけの活動ということもあり、中々うまくいかないこともあります。特に茶道では作法のルールが沢山あり、まだ全てを覚え切ることができていません。しかし部員それぞれが高い意欲を持ち、一回一回を大切にしています。そのおかげか今では作法の一つである帛紗捌きが大体ではありますができるようになりました。



また花道は茶道に比べて回数が少ないためあまり経験が詰めていませんが講師の先生が大変経験豊富な方で少し迷っているときにいつも良いアドバイスをくれます。そのおかげで私たち部員も素人ながら左の写真のような作品を作らせていただいています。活けたお花や余ったお花は部員が持って帰ることが出来、家でもしばらく楽しむことができるため毎回持って帰る生徒もいます。



その他にも今年の夏休みには矢口渡にある矢口小学校で2日わたって行われた茶道教室ではたくさんのお花が参加し、大変好評でした。それだけではなく、私たち自身も教える立場に立つことによって自分の改善点を見つけることが出来ました。

電気コース

電気システムコースでは、第二種電気工事士の取得を狙っています！一年次に講習が始まり二年次や三年次に取っていくのが想定です。そして第二種電気工事士以外にも第一種電気工事士やその他の資格も取得することができます。卒業後には第三者電気主任技術者の資格も狙えます。

このような資格を持っていることにより将来の就職や進学で活かれます。就職は鉄道や車などの乗り物系や電気を使うものなどが多く、メトロや電力などの大手企業にも就職する人もいます。進学も本人の努力次第ですることも可能で、大学や専門学校に行く人もいます。

学校生活を見ていると運動部や文化部など多種多様な人がいて交流の幅も広くて人といろんな人と話す機会があると思います。仲が良すぎるのかたまにはめを外すこともあります。



ゲームITコース 授業風景



ゲームITコース 東京ゲームショー2025



電気コース・ゲームITコース 集合写真

ゲームITコース

ITのコース紹介です。ゲームITコースはゲームが好きの人が集まりすぐに仲良くできる反面その人たちと仲良くなりすぎて他とクラスの人たちと関わろうとしないということが多くあります。しかし、クラス内の結束はかたく、一致団結して行事に取り組むことができます。

他にも、東京ゲームショーでは自分たちの作ったオリジナルゲームを出展できるとできるという特色があります。

ITコースは、情報教育（プログラミング）が授業に取り入れていて、また、国家資格である第二種電気工事士を取るために授業に電気工事を学ぶ授業があります。そこでは基礎的な知識から、実践練習をします。実践練習では回路図を書いたり、その図を元に回路を組むテストなどを行います。そこから大手企業への就職を目指します。鉄道関連会社への就職も人気です。そのために放課後2時間程度の講習会を行っており、また、他の資格を取ることも可能なので挑戦のしがい十分あります。

そして東京ゲームショーに出展するために、3年間の授業で、プログラミングの授業を行います。1年次でプログラミング基礎、2年次でゲームプログラムの基礎を学び、3年次で、グループでゲームを作成します。そしてそれを出展し評価をもらうというのがこのクラスの特色です。

大学進学をしたいのであれば努力次第で十分可能となっています。このコースは総合型選抜（AO入試）を利用しての大学進学を目指しています。

ビジネスコース

<ビジネスコース>

<ビジネスコースのここがすごい！>

- ・アントレプレナーシップの学習
起業に必要な基礎知識や、重要な考え方、発想力を徹底的に鍛えるいわゆる、『起業家への快速電車』
- ・専門資格取得に向けた学習
授業内で、資格取得に向けた学習を徹底的に進めていく。つまり、『資格取得への特効』
- ・デジタルスキルの学習
Pcのアプリや機能をより有用に使うための知識、スキルを習得し、これからのビジネス社会で生き残るための学習。言うならば、『新たな社会への適応準備』

<カリキュラムの特徴>

- ・専門科目の徹底学習
簿記や、officeソフトなどの知識を学んでいます。
- ・ビジネスマナーetc..
実社会で通用するようなビジネスマナーやプレゼン能力を、日々バランスよく学んでいます。

<実際どうなの？>

専門的な科目の学習に加え、基礎的な5科目の学習もするので、一般常識と専門知識をバランスよく伸ばすことができます。



<近況>

～2025年度3学年～

- ・全経簿記検定 74%
- ・情報処理検定(Excel) 86%
- ・ビジネス文書検定(Word) 86%

<先生から一言>

生徒と共に日々の生活や授業を通して、楽しい時間を過ごしています。仲間と一緒に楽しいという気持ちを忘れず、様々なことを学んで欲しいです。

ダンス部



〈ダンス部の特徴〉

- ・一人一人気合いがある
- ・初心者でも楽しめる

〈他の部活にはない要素〉

- ・個性豊か
- ・表現力

〈今後の目標〉

- ・部員を増やすこと
- ・様々なイベントに出ること
- ・それぞれのスキルを少しずつあげていくこと

〈ダンス動画について〉

振りや音源などを自分たちで用意し、動画撮影に向けてたくさん練習を行いました。



2025年文化祭 ダンス部 舞台

〈文化祭について〉

各学年ごとに曲と振り付けを決めダンスを披露しました。3年生と1年生がJ-pop、2年生がHIPHOPを披露しました。



〈先生へのインタビュー〉

Q、ダンス部の顧問になった感想は？

A、初めのダンス部は改革の途中だったため、ダンス部の部員には自分の強みを増してほしいと思った。また、ダンスは体で動かして表現するところや他にはないダンスの魅力にひかれた

Q、ダンス部の雰囲気は？

A、部員それぞれの個性が強くダンスを上手くなりたいという意志が強いと思った。

Q、今後部活をどうしたい？

A、学校外での発表を増やしたい、ダンスをする上で人数が多いと見栄えが良くなると思い、部活の人数も増やしたいと思った。また、部活動の練習量が足りないと思ったので、時間を作りたいと思った。

会員通信欄

第45回定期総会(2025.6.7) の返信ハガキより

☑伊藤 一嘉 (第29期)

来年(令和8年)6月で91歳になります。今年の7月から介護老人施設にお世話になっております。新年会のご案内有難うございました。

☑浜住 芙美枝 (第34期)

午歳「チョット」しんどいなあ～と思ったら自分に喝を入れ、ピョンと前に飛んでみようと思います。

個人的なことですが…寒暖差の強い冬のように。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

☑滝川 謙行 (第34期)

元気しております。

☑沢畑 鋭次 (第35期)

釣りや散歩で楽しんでいます。最近診察券も増えてきました。

☑石井 満 (第38期)

なぜ、昼間開催しないのですか？ 80歳過ぎて夜道は危険です。

☑飯塚 守昭 (第38期・野球部)

昨年は38期生10名にて東実祭の催しに参加し、懐かしい気持ちでした。

我々も高齢になりなかなか行事には参加できませんが、夏の都予選大会には、数名で神宮にて観戦しました。残念ながら惨敗でしたが、充分楽しめました。今後益々の発展を期待しております。

☑日下部 銚五郎 (第38期)

今春の102回箱根駅伝は、東実卒國学院大2年生尾熊迅斗君に注目しました。出雲駅伝で國学院大優勝メンバーをTVで知り期待しておりました。前田康弘監督の粋なはからいで地元蒲田を走る10区に、総合新記録で、第2位でゴール。来年・再来年も期待したい。

定期総会報告

第45回(令和7年)定期総会・懇親会

第45回(令和7年)定期総会並びに懇親会は、令和7年6月7日(土)17時より、定期総会48名、懇親会53名の出席のもと、プラザ・アペア(蒲田)にて次の次第に沿って開催されました。

第45回定期総会次第

～開会～

- 物故者への黙祷
- 挨拶
 - 会長
 - 名誉会長(学校長)
- 議長選出
- 議事録署名人選出
- 議事
 - 第1号議案 令和6年度事業報告
 - 第2号議案 令和6年度収支決算報告並びに監査報告
 - 第3号議案 令和7年度事業計画(案)
 - 第4号議案 令和7年度収支予算(案)
 - 第5号議案 異動に伴う役員改選(案)
 - 第6号議案 その他(案)
同窓会会報誌デジタル化について
- 改選役員等紹介
 - 改選役員
 - 出席幹事(第100期他)
- 令和5年度東実スカラシップ認定式
 - 認定証授与
 - お礼の言葉

～閉会～

懇親会次第

- 開会の言葉
- 挨拶
 - 会長
 - 学校法人上野塾理事長
- 来賓祝辞
- 学校近況報告
- 乾杯
- 教職員紹介
- 歓談
- 校歌斉唱
- 閉会の言葉

定期総会

山田慎常任幹事の司会進行により開催され、議事に先立ち鬼籍に入られた会員並びに同窓会関係者に黙祷を捧げた後、酒井利夫会長、田中清江名誉会長(校長)の挨拶に次いで、総会の召集権のある会長が議長となり議事に入り、6議案が議場に諮られ、第1号～第5号議案は賛成多数により原案通り承認可決されました。また、第6号その他議案においては、会報誌『東実同窓会報』は、郵送による送付を減らし、Webサイトにてデジタル版を中心に配信することが承認されました。

議事に次いで、当会も協賛している「東実スカラシップ」の認定授与式が行われ、令和6年度2年生(現3年生)の認定生徒代表に田中清江校長より認定証が授与されま

した。なお、第5号議案においては、本年度は非改選期であり、次表の改選名簿者3名の改選が行われ承認されました。

改選名簿者

	氏名	役職名	
		現任	改選
1	川邊 國造	相談役	退任
2	中村 大	校内幹事	校内幹事長
3	小島 健市	校内幹事長	校内幹事

※改選後の新組織体制は、次ページの組織図をご参照ください。

懇親会

総会終了後の懇親会では、酒井利夫会長並びに学校法人上野塾上野雅子理事長の挨拶に続いて、ご来賓の東京高校同窓会会長三枝香容子様にご祝辞にいただいた後、母校の近況について宮田宏輔副会長(副校長)より学校の近況報告があり、次いで中村大校内幹事長(教諭)に乾杯の音頭を取っていただき開宴となりました。

出席者の最年長は91歳(第28期)、最年少は19歳(第100期)、年齢差72歳の卒業生が一堂に会して交流するという同窓会ならではの和気藹々とした雰囲気の中、食事しながら楽しく懇談しているうちに、お開きの時間が近づき全員で校歌を斉唱した後、卒寿(90歳)を過ぎた箕輪弘数相談役の三本締めで閉会となりました。

(総務部)

令和6年度 収支決算報告書(第2号議案)

(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	4,028,233	4,028,233	事務消耗品費	150,000	162,095
入会金	2,400,000	2,320,000	通信連絡費	100,000	125,261
寄付金	80,000	100,000	ホームページ管理費	170,000	168,510
広告費	40,000	54,000	印刷費	100,000	41,627
総会会費	100,000	102,000	会議費	250,000	283,179
旅行会費	200,000	150,000	総会助成費	450,000	681,956
新年会会費	300,000	184,000	総会会費	100,000	102,000
東実祭	120,000	118,650	旅行助成費	100,000	40,500
受取利息	67	601	旅行会費	200,000	150,000
雑収入	150,000	203,220	新年会助成金	150,000	571,232
(総会)	60,000	57,000	新年会会費	300,000	184,000
(旅行)	0	0	東実祭費	150,000	140,360
(新年会)	80,000	120,000	会報発行費	600,000	405,195
(拡大幹事会)	10,000	10,000	慶弔費	300,000	256,276
(その他)	0	16,220	卒業記念品費	250,000	252,065
会議会費	30,000	42,000	積立金	300,000	0
(拡大幹事会)	30,000	42,000	交通費	20,000	20,000
(その他)	0	0	予備費	150,000	0
			雑費	3,000	550
			奨学金	500,000	500,000
			次年度繰越金	3,105,300	3,217,898
			(普通預金)	2,600,000	2,775,398
			(現金)	505,300	442,500
収入合計	7,448,300	7,302,704	支出合計	7,448,300	7,302,704

【積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)】

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	16,827,309	0	271	16,827,580	定期預金

令和7年度事業計画(第3号議案)

(令和7年4月～令和8年3月31日まで)

I. 総務部

1. 第44回(令和6年)定期総会並びに懇親会の開催

(1) 定期総会

日時:令和7年6月7日(土) 17時より
場所:プラザ・アペア

(2) 懇親会

期総会終了後、参加費 3,000 円にて開催
(卒業後3年以内の会員は無料)

2. 拡大幹事会の開催

日時:令和7年11月21日(金) 18時より
場所:プラザ・アペア

会費:3,000 円

3. クラス委員懇親会

日時:未定
場所:未定

4. 庶務一般関係

- (1) 会員名簿の整理及び作成
- (2) 会員の同窓会事業への参加促進活動
- (3) 卒業記念アルバムの管理
- (4) その他
 - ・常任幹事会等の開催
 - ・新幹事との懇親会の開催
 - ・学校行事への出席

II. 企画・広報部

① 年間行事等に関する事業

1. 第42回懇親旅行の実施

9月中旬～10月上旬頃に1泊2日の宿泊または日帰り旅行を企画。(開催期日が決定次第、速やかにホームページにて会員に周知する。)

2. 東実祭への参加

令和7年9月6日(土)・校内公開日、7日(日)・一般公開日、同窓会は7日の一般公開に同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼きの販売などを行う。

3. 令和8年新年会の開催

- 日時:令和8年1月31日(土) 18時より
- 場所:プラザ・アペア
- 会費:8,000 円～10,000 円
(卒業後3年以内の会員は無料)

② 会報誌の発行、ホームページ管理、広報活動等に関する事業

1. 会報誌関係

- (1) 東実同窓会報の編集及び出版
- (2) 頒布(配付・送付)

2. ホームページ関係

- (1) 随時更新及び運用管理
- (2) 年間行事等の情報提供及び参加者の募集
- (3) 会員からの各種変更届等の対応

3. 広報活動

- (1) 会報誌の広告掲載企業の募集
- (2) ホームページのバナー広告企業の募集

III. 会計部

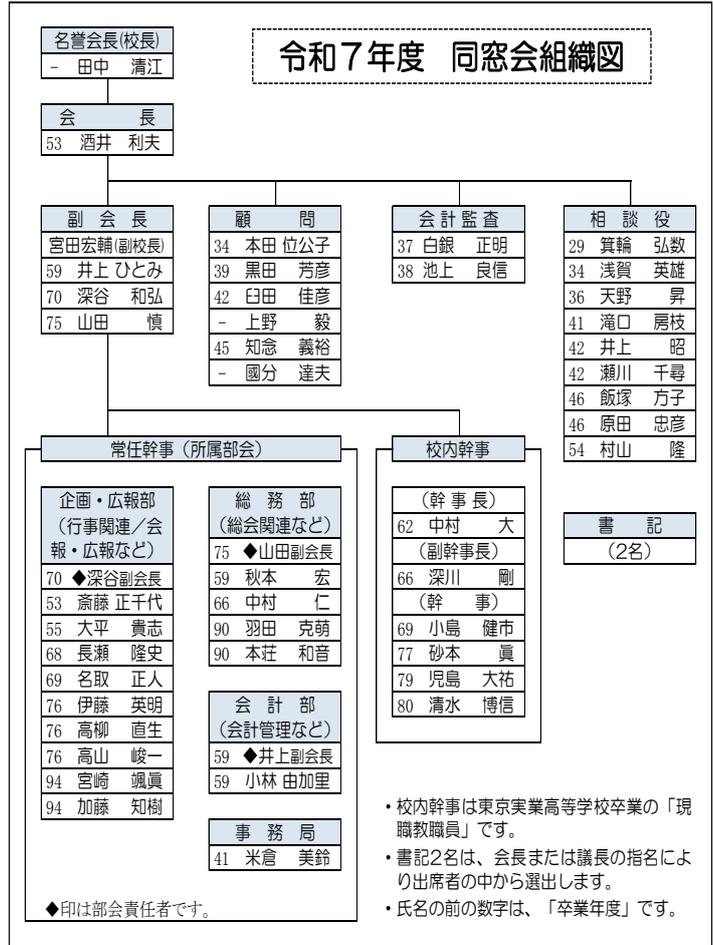
1. 予算・決算関係

- (1) 現預金の出納業務
- (2) 当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
- (3) 次年度予算の集計及び予算書の作成

2. 寄付・協賛・贈呈関係

- (1) 卒業生への卒業記念品贈呈
- (2) 東実スカラシップ(奨学金)への寄付
- (3) 部活へのお祝い金
- (4) 役員会で承認可決された慶弔金・寄付金等

組織図



第45回(令和7年)定期総会・懇親会(2025.6.7 於:プラザ・アペア)

寄付者 (敬称略・卒期順)

(令和7年2月1日～令和8年1月31日)

No.	期月	卒期	氏名	寄付金
1	6月	第25期	井上 政雄	10,000円
2	5月	第28期	中川 進	50,000円
3	6月	第29期	箕輪 弘数	10,000円
4	12月	第34期	本田位公子	10,000円
5	5月	第37期	白銀 正明	10,000円
6	5月	第41期	山岸 三雄	10,000円
7	6月	第41期	田口 清	10,000円
8	1月	第41期	市川 達雄	12,000円
9	4月・1月	第57期	中野 龍延	20,000円
10	12月	第64期	清水 誠三	10,000円
寄付者数 10 件			合計金額	152,000円

貴重なご寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。皆様からお寄せいただきました寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

会長 酒井 利夫

東京実業高校同窓会会員総数

第100期(令和7年3月)卒業生まで

()内の数字は女子会員

会員数		総数	商業系	工業系	普通系
		総数	38,629	14,265	18,239
	うち女子	(3,748)	(2,612)	(25)	(1,111)
昼間部(同窓会) (大正15年～令和7年)100期	総数	34,403	11,910	16,368	6,125
	うち女子	(3,516)	(2,382)	(23)	(1,111)
夜間部(蛍窓会) (昭和4年～昭和52年)49回	総数	3,586	2,223	1,363	
	うち女子	(228)	(228)	(0)	
専門学校(五葉会) (昭和35年～昭和48年)14回	総数	640	132	508	
	うち女子	(4)	(2)	(2)	

第100期 卒業生数	総数	工業系			普通系		
		機械	電気	IT	ビジネス	総合	探究
合計	232	24	22	25	44	88	29
男子	203	24	22	24	32	75	26
女子	29	0	0	1	12	13	3

第101期生(令和8年3月卒業)在籍人数

(2026年2月1日現在)

第101期生		工業系	普通系
合計	271	80	191
男子	242	77	165
女子	29	3	26

同窓会会則

(令和5年6月3日改定版)

第1章 名称及び事務所

第1条 本会は東京実業高校同窓会と称し、本会の事務所を東京実業高校内に置く。

第2章 目的

第2条 本会は会員相互の好誼を厚くし母校の興隆を図ることを目的とする。

第3章 事業

第3条 本会は会員名簿及び同窓会報を発行する他、第2条の目的を達成するため必要な事業を行う。

第4章 会員

第4条 本会は東京実業高校の卒業生、ならびに本校に関係のある卒業生及びこれに準ずる者を正会員とし、現教職員、元教職員を特別会員とする。

第5章 役員

- 第5条 本会に下記の役員を置く。
- ・名誉会長(学校長)・・・1名
 - ・会長・・・1名
 - ・副会長(副校長・学校特命担当含む)・・・7名以内
 - ・常任幹事・・・51名以内
 - ・校内幹事(正会員の現教職員)・・・若干名
 - ・幹事(各卒業年度各組)・・・2名
 - ・会計・・・2名
 - ・会計監査・・・2名
 - ・書記・・・2名
 - ・顧問相談役・・・若干名

第6章 総会及び幹事会

第6条 会長・副会長・常任幹事・会計・会計監査・顧問・相談役は総会に於いて推薦する。

第7条 会長は本会を代表し、会務を執行する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。

第8条 役員任期は2カ年とする。但し再任を妨げない。

第6章 総会及び幹事会

第9条 会長は幹事会を召集し、会務の執行を協議する。その議決は出席者の過半数による。

第10条 会長は毎年1回以上総会を召集しなければならない。総会の決議は出席者の過半数による。

第7章 会計

第11条 東京実業高校生徒は在学中に終身会費1万円を同窓会に納入し、卒業と同時に本会会員たる資格を得る。

第12条 本会の経費は終身会費・寄付金・その他の収入を以って充当する。

第13条 本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8章 会則変更

第14条 本会会則は総会の議を経て変更する事が出来る。

補則

改定 昭和58年7月23日、昭和63年11月3日、平成元年6月28日、平成18年6月10日、令和5年6月3日

主な行事報告

令和7年度(第101期)同窓会幹事懇親会

令和7年度(第101期)同窓会幹事との懇親会を下記の通り開催いたしました。

記

- ・日 時：令和7年12月6日(土)11時15分より
- ・場 所：学校会議室
- ・出席者：学校関係…校長、副校長、学年主任、クラスの担任先生及び各科クラスの幹事(次表をご参照ください)
同窓会関係…会長、副会長、事務局員
- ・内 容：主な同窓会活動の説明、行事への参加・協力のお願いについて

令和7年度(第101期)同窓会幹事

クラス	担 任	幹 事	
M3A	田中 秀明先生	◎宮崎 瑠眞	牧野 悠士
E3A	関根 勝先生	秋吉 創太	○田口 歩夢
IT3A	毛塚 卓夫先生	○佐々木 連	○坂下 忠駿
O3A	竹高 大地先生	小河内 柳音	笠川 晃平
O3B	田島 恵先生	荻野 哲大	樋田 敬大
O3C	小島 健市先生	杉山 聖英	高橋 楓
O3D	山口 汐音先生	鮎川 琉生	廣畑 亮介
O3E	片山 智裕先生	鈴木 玲生	石山 連
O3F	小島 茂先生	林 勇裕	吉田 大聖
O3G	鈴木七生希先生	新井 丈	大内 樹
進路部長 3学年主任	湯尻 英明先生 深川 剛先生	◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。	



令和7年度(第101期)同窓会幹事

(総務部)

令和7年度 東実祭

9月6日(土)・7日(日)の2日間にわたり開催されました。6日は校内開催日であり、同窓会は7日の一般公開日に「同窓会の部屋」を設け、歴代の卒業記念アルバムの公開や会員の作品展示、校庭と地下大ホールでの親師会バザー会場にて、恒例となった「校章焼印・どら焼き」販売を行いました。同窓会の部屋には、同窓生(家族同伴の方も)だけでなく在校生も訪れて、同期・先輩・後輩の卒業アルバムを懐かしく閲覧されていました。また姉妹(兄弟)校の東京高校同窓会役員の方もご来場くださいました。

(企画・広報部)

令和7年度 拡大幹事会

令和7年11月21日(金)、18時よりプラザ・アペアにて上野雅子理事長始め学校関係者5名、同窓会役員13名、総勢18名の出席もと、拡大幹事会を開催いたしました。

酒井利夫会長、田中清江校長(名誉会長)の挨拶の後、宮田宏輔副校長(副会長)の学校近況報告に次いで、各部会の責任者より同窓会活動の現況報告が行われ、議事日程は終了となり閉会いたしました。

会議後、同会場にて懇親会を開催し、学校・同窓会相互の協力・連携等について意見交換を行いました。

(総務部)

令和8年 新年会

令和8年1月31日(土)18時より、プラザ・アペア3階リモナにて学校現・元教職員並びに卒寿を過ぎた第28期の大先輩から第99期の会員まで、年齢差70歳を超える同窓会ならではの多彩な顔ぶれが集うなか、ご来賓に上野塾理事長及び理事様、東京高校同窓会役員3名様、東京実業高校桜美会会長様をお迎えし、総勢31名の参加のもと、新年会を開催いたしました。

司会の高山竣一常任幹事(第76期)の開会の言葉で開会となり、酒井利夫会長、上野雅子理事長、田中清江校長(名誉会長)の挨拶に次いで、ご来賓の東京高校同窓会会長三枝香容子様と東京実業高校桜美会会長山本一代様にご祝辞をいただいた後、清水博信教諭(第80期・校内幹事)の乾杯の発声により開宴となりました。

普段は、あまり話す機会がない先生方や先輩後輩の垣根を越えて和気藹々の懇談が続くなか、受付にて各自が引いた抽選券に貼られたシールの色によって、異なる商品が当たる抽選会を楽しむうちに閉会の時間を迎え、最後に全員で校歌を斉唱し、井上ひとみ副会長(第59期)の締めの挨拶で閉会いたしました。



(企画・広報部)

第42回 懇親旅行

参加希望者少数のため、残念ではございますが今回は取りやめさせていただきました。

(企画・広報部)

寄稿・投稿欄

懐かしい“部活動”の思い出



戸田 孝 (第38期)

私は、第38期卒業の戸田孝と申します。

まずは、高校生活3年間のバレー部の活動を本会報に投稿するに至った経緯についてお話させていただきます。

昭和38年卒業・機械科B組のクラス会をほぼ毎年開催してきました。このクラス会の中心的な活動をしていたのが、同じクラスの野球部に所属していた星山嘉昭君です。星山君が以前より毎年開催されている同窓会の定期総会の懇親会や新年会に出席しており、その場を通じて役員の方々との交流ができました。役員の方々との繋がりが出来たことで、学校行事の“東実祭”を見学するようになりました。それに合わせて学校を集合場所にしてクラスの仲間が集まり、蒲田でクラス会を行うようになりました。この集まりに以前より前会長の臼田さん、会計監査の池上さんらが参加されていました。

今年(令和7年)のクラス会の懇親会に元会長の本田さんが加わり、年々年齢やクラスなど関係なく輪が広まってまいりました。たまたま私の隣に座られたのが本田元会長で、在学当時のバレー部の話で盛り上がり、本田元会長から「是非バレー部の活動の話を同窓会報に投稿されては？」とのお話をいただきました。昔のことで一瞬躊躇しましたが、せっかくの御縁と思い投稿させていただくことに致しました。

では、本題のバレー部の活動の話に移ります。

私は、入学して即入部しました。この当時は9人制バレーが主流で6人制に切り替わる時でした。卒業した年の昭和39年東京オリンピックでは、6人制女子バレーの活躍で日本中が最高に盛り上がりました。

高校3年間の部活動のなかで、特に印象に残っている

のは合宿です。

1学年のときは、細江和四郎先生が顧問をされていて夏休みを利用して湯河原で合宿を行いました。現地には列車で移動しましたが、この当時の東海道線の列車は、今とは違って湯河原はかなり遠くに感じました。現地の中学校のグラウンドを借り、真夏の暑いなか1週間滞在しました。合宿を始めてすぐ同期のS君が突然熱を出し緊急搬送されました。今考えると、まさに熱中症です。当時は練習中に水分を補給するのは制限されて、今とは真逆で当たり前の時代でした。練習はかなりハードで皆さんよく耐えて頑張ったと思います。こんな合宿中に多くの先輩達が差し入れをしてくれました。特に真夏の暑い中の冷えたスイカは最高でした。

2学年のときは、順天堂大学から体育の西沢和決先生が顧問として赴任され、西沢先生の順大での合宿は、民宿に寝泊まりして規則正しい生活の日々でした。合宿の成果を見るということで、現役の大学生と練習試合を行いました。技術の差は歴然でした。しかし、貴重な体験ができました。また、春休みには今では考えられませんが、学校の教室で合宿を行いました。教室の机を平らに並べ、その上に30人分程の布団を敷いて簡易の宿泊施設をつくり、暗くなると就寝、明るくなると起床、日中は練習に励むなど、昼夜を問わず規則正しい活動でしたので、とても貴重な体験ができました。

このような合宿を繰り返すことで、先輩と下級生達とのあいだになんともいえない絆が生まれ、練習や試合で一体感が生まれたと思います。また、食事なんかは東急目蒲線(現在は東急多摩川線)の鶴の木駅前の蛇ノ目食堂(現在は蛇ノ目寿司)という食堂まで徒歩で空腹を満たしました。毎日食堂で食事を取ることができるのは、当時の高校生としては贅沢なことでした。

最後になりますが、3年間の主な戦績としては、西沢先生の計らいで東実の校庭で行われた近隣の私立学校の大会において、参加した目黒高校、東京高校、大森工業高校と対戦し、見事に優勝杯を手にすることができました。また、身近な大会では、大田区の社会人と我々高校生が一緒に六郷土手のコートで戦うことが多々あり、何度かカップを手にすることもありました。また、東京都の新人戦の大会では、ベスト16位に入ったこともありました。

“ツライ”こと、“楽しい”ことがいっぱいあった懐かしい3年間の部活動でした。

(令和7年12月24日 記)



令和7年クラス会メンバー(9月7日の東実祭のとき学校集合)



バレー部全員

東京実業高等学校柔道部OB会のあゆみ

柔道部OB会会長 遠西 廣亘 (第40期)
(写真の左側一番手前)



2025年6月打合せ後の懇親会にて(京急蒲田駅付近)

●● 柔道部OB会のあゆみ ●●

昭和30年(1955年)6月

大平礼五郎先生が、横山清一(第26期・大田区柔道会幹事)をコーチとして迎え柔道部を立ち上げる。

昭和33年(1958年)3月

第33期卒業生7人が、初代OBとなる。

昭和39年(1964年)

体育館が新設される。新道場での練習や夏季合宿にOBが参加するようになり、OB会の立ち上げの話が出る。

昭和58年(1983年)6月

山中湖学寮体育館が新設され、合宿及びOBの宿泊も可能になる。OB会設立の気運も高まり、実行委員会を立ち上げ各界のOBの賛同を得る。その後会則を作成し会長横山清一、顧問千田一雄先生(第43期)、事務局橋内信一(第41期)を定め、柔道部OB会を発足する。

昭和59年(1984年)8月

山中湖学寮体育館の落成に合わせ、OB会での活動を開始する。

令和元年(2019年)

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、活動を一時停止する。

令和7年(2025年)6月

令和6年コロナウイルスの鎮静化に伴い、会員より再開の要望があり、顧問宮地裕先生及び実行委員にて再開を検討し、創部70周年を記念して活動を再開することを決定する。

※本会報誌No.26号(平成27年3月1日発行)の部活動報告欄で、柔道部の紹介記事が掲載されています。ホームページから閲覧できますので、ご覧ください。

陸上競技部OBの駅伝競走に感動!

顧問 白田 佳彦 (第42期)

令和8年の正月三が日にテレビで実況放送された「ニューイヤー駅伝」と「箱根駅伝」に、東実陸上競技部OBの選手がエントリーしていましたので観戦しながら応援しました。結果は下記の通り、出走した二人は共に素晴らしい活躍をされ、私だけではなく多くの同窓生の皆さんや後輩の生徒たちに喜びと感動を与えてくれました。

記

ニューイヤー駅伝 2026in ぐんま…1月1日

40チーム出場の中、総合13位になったスバル(SUBARU・群馬)の最終区(7区)の選手として出走したOBの並木寧音(第95期)さんが、区間新記録の区間賞を獲得する見事な走りを見せてくれました。



第102回箱根駅伝(2026年)…1月2日～3日

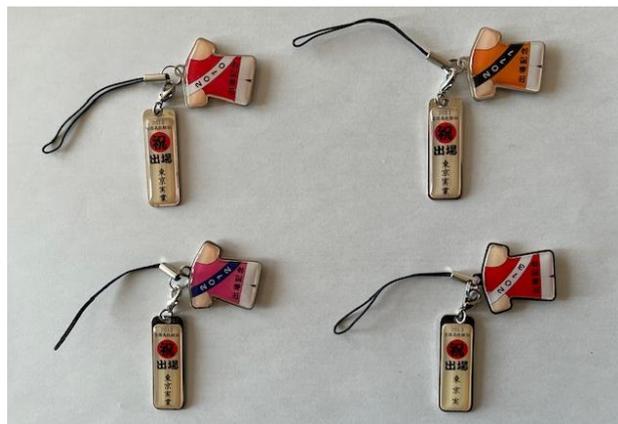
國学院大学2年生で、OBの尾熊迅斗(第99期)さんが、箱根駅伝往路10区アンカー選手として走り、区間4位の成績で、國学院大学を総合2位(大会新記録・大学最高順位・箱根史上歴代2位)に導いたチームの一員として素晴らしい走りを見せてくれました。



以上

“4年連続”全国高校駅伝大会出場

2010年～2013年の東京都高校駅伝大会で4連覇し、東京代表として全国大会に出場したとき、京都都大路に貸切バスや新幹線で応援行ったことを懐かしく思い出します。再び都大路で応援できることを願っています。(白田)



全国大会出場記念ストラップ

物故者(敬称略)

下記の方が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

会長 酒井 利夫

記

卒期	氏名(旧姓)	没年
第22期	石渡 政治	平成17年
第22期	小原 信一	平成29年
第22期	井上 誠一	令和5年9月
第25期	八田 泰造	令和6年3月
第33期	代田 喬郎	令和5年5月
第35期	松阪 茂	令和7年3月
第41期	黒沢 国男	令和6年8月
第53期	斎藤正千代	令和8年1月

物故者 memo

◆代田 喬郎(第33期)さんのご長女・知恵子様より (令和7年5月13日メールにて)

令和5年5月に逝去致しました。生前、懇親会や旅行に参加させていただき、楽しい思い出になった事と思います。お世話になり有難うございました。これからの同窓会のご発展を心よりお祈り致します。

◆井上 誠一(第22期)さんのご家族様より (令和7年5月24日メールにて)

令和5年9月に93歳で逝去いたしました。今まで長きにわたり、同窓会報の送付ありがとうございました。これからも益々のご発展をお祈りいたします。

◆斎藤正千代(第53期)さんへ (令和8年1月16日 役員より)

常任幹事在任中での突然の悲報に接し、誠に痛恨の極みです。本年度の東実祭にお元気で“どら焼き”を販売している姿を思い出します。また、1月31日の新年会にも参加予定で、お会い出来ることを楽しみにしておりました。

生前は同窓会の行事に積極的に参加されるなど、運営や活動にご尽力いただきましたこと心より感謝申し上げます。安らかにご永眠されますようお祈りいたします。

寄付金募集について

本会は同窓会(昼間部・昭和3年3月結成)と蛍窓会(夜間部・昭和4年3月結成)及び五葉会(専門学校・昭和36年2月結成)の3会を昭和58年12月統合し、現在の「東京実業高校同窓会」に改称いたしました。

本会では、会員相互の厚誼を厚くするとともに母校の興隆を図ることを目的とし、各種行事(定期総会・懇親会、懇親旅行、新年会など)の開催、会報誌発行、名簿管理、母校記念行事の協賛などの事業を行っており、事業の活動は皆様が在学中に納めていただいた終身会費1万円と行事参加費などで運営しております。

しかしながら、急速な少子高齢化等の影響により母校の生徒数は年々減少傾向にあり、それに伴って会費収入も減少し、本会の事業活動が困難になることが懸念されるため、下表の募集要項に基づいて寄付金を募ることといたしました。

本趣意をご高察のうえ厳しい経済環境のなか恐縮とは存じますが、ご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

寄付金募集要項

1	寄付金対象者	①正会員(卒業生) ②特別会員(現・元教職員) ③卒業生及び在校生に関わりがある者、または関わりがある法人企業。
2	募集期間	募集期間の定めはなく継続的に募集活動を行って参ります。
3	寄付金	①個人:1口につき1千円より、 ②法人:1口につき5千円より、 金額の多寡にかかわらず、有り難く受け賜われます。なお、この寄付金は任意であり税制上の優遇措置はありません。
4	申込方法	個人としてご寄付いただく場合は、同窓会名簿にて本人確認をさせていただくため、お振込みの際は、名前の前に英字のD(ディー)と卒業年(数字2桁)を付記していただくようお願いいたします。 例) D46 東実 太郎 なお、卒業年が不明の方は事務局にお問合せください。 法人・企業様等につきましては、事務局までご連絡ください。寄付の手続についてご案内させていただきます。
5	振込先	銀行:みずほ銀行・蒲田支店 口座:普通預金 0613114 口座名:東京実業高等学校同窓会 酒井 利夫(カイトロ)
6	領収書の発行	原則として金融機関への振込依頼書・払込受領書をもって領収書に代えさせていただきますが、お申し出いただければ領収書を発行いたします。
7	お問い合わせ先	ご不明な点などがございましたら、事務局(080-1186-8945)にお問い合わせください。
8	その他	ご寄付いただいた寄付金の総額及び延べ人数は、定期総会にて報告いたします。

令和8年1月15日

会長 酒井 利夫

同窓会活動カレンダー (2025年6月~2026年5月)

●印:同窓会関係 / ○印:学校関係

2025年	6月	●7日(土) 定期総会 ○10日(火) 開校記念日
	7月	●常任幹事会 ○14日(月) 体育祭
	8月	
	9月	●懇親旅行 ●常任幹事会 ○6・7日(土・日) 東実祭
	10月	●常任幹事会 ●クラス委員懇親会
	11月	●21日(金) 拡大幹事会
	12月	●新幹事懇親会
2026年	1月	●31日(土) 新年会
	2月	○マーチングバンド部定期演奏会 ●常任幹事会
	3月	●1日 会報37号発行 ○3日(火) 卒業式
	4月	○7日(火) 入学式 ●常任幹事会
	5月	

本会報誌について

デジタル化に伴うお願い!

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業されてから3年までの会員、行事出席者、寄稿者及び広告掲載企業様には、4月下旬に送付しておりました。また定期総会や新年会等の行事開催の際やクラス会・同期会などの開催の際に必要な方にお渡ししておりました。

しかしながら、近年の印刷・配送コストの上昇や宛先不明により返送されるケースが増えており通信費が無駄になっております。このような状況と、持続可能な会報誌の発行環境を維持していくことや多くの卒業生に迅速に情報を提供していくことを考慮し、学校と協議のうえ郵送による送付を減らし、Web サイトにてデジタル版を中心に配信することといたしました。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ただし、従来どおり郵送をご希望される方には郵送でお届けいたしますので、お手数ですが郵送をご希望される方は下記の要領にてお申込みください。

記

1. 申込方法

(1) 事務局

- ・電話：080-1186-8945
- ・メール：tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp



(2) ホームページ

- ・ホームページ：http://www.tojitsu-dosokai.com/



- ・メール：info@tojitsu-dosokai.com



(3) ハガキ

〒144-0051 東京都大田区西蒲田 8-18-1
東京実業高等学校内 同窓会事務局 宛

2. 申込締切期限

毎年11月末日（発行日の3か月前）

3. 申込必須事項

- ・氏名（ふりがな）
- ・住所
- ・電話番号
- ・メールアドレス
- ・卒業期（もしくは〇〇年3月卒業）
- ・学科（コース）

以上

バックナンバーの閲覧

本誌のバックナンバー（創刊号～本号）は、同窓会ホームページで閲覧できますので是非ご覧ください。

Phoenix Regiment 定期演奏会



毎年2月中旬から3月上旬に定期演奏会開催しております。開催日時・場所等の詳細は、学校に直接電話されご確認ください。観覧は無料ですので、是非ご覧になってください。



東京実業高等学校

JR京浜東北線/東急池上線・多摩川線 蒲田駅 徒歩3分

東京都大田区西蒲田8丁目18番1号 03-3732-4481

<https://www.tojitsu.ed.jp/>



東京都大田区南馬込5-22-10

TEL (03) 3771-7100

営業時間 17:00~23:00

携帯 (080) 5375-8552

月曜定休 (祝日の場合営業)

パソコン・一般家電 修理・販売
お気軽にご相談下さい



有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16

(御嶽山商店街内)

電話：03(3728)1446

E-mail: NQF15990@nifty.com

第70期 代表取締役 深谷和弘

SK NC旋盤加工

有限会社大坂製作所

本社 〒144-0045 東京都大田区南六郷 1-34-13
TEL/FAX 03-3735-0379

羽田工場 〒144-0044 東京都大田区本羽田 2-12-1
テクノ WING208

TEL 03-6423-8718 FAX 03-6423-8719

事務局だより

■ 主な同窓会行事と参加のお願い ■

同窓会では、主に次の行事をおこなっており、開催時期は以下の通りです。

- ・新年会 1月(最終土曜日)
- ・定期総会 6月(第1土曜日)
- ・懇親旅行 9月下旬～10月中旬
- ・東実祭 10月下旬～11月初旬(土・日曜日)

詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、参加申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員(東京実業高等学校の同窓生・元教職員)の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。(企画・広報部)

■ 広告掲載のお願い ■

〈同窓会報〉 本会報紙に広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は次の通りです。

広告サイズ	およそ寸法	色	価格(税込)
1	85×45mm	カラー	5,000円
2	A5サイズ	カラー	7,000円
3	A4サイズ	カラー	10,000円

各号の締切日は、12月中旬となっておりますので、お申し込みは、事務局に電話(080-1186-8945)またはメールにてお願いいたします。

〈同窓会ホームページ〉 ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は1年間20,000円(税込み)です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。(企画・広報部)

■ 同窓会名の電話・メールに“ご注意 ⚠” ■

同窓会関係者を騙って、「名簿更新にあたって氏名・住所・生年月日・勤務先などを調べています」など、電話やメールにて個人情報の収集し、個人情報を悪用した詐欺被害が増えております。東実同窓会では、電話やメールによる寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていません。その場で答えず、「一度電話を切る/メールに返信しない」でご家族の方に相談してください。

また、このような問い合わせがありましたら、ご家族にもぜひ共有していただき、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。(事務局)

■ 個人情報の取扱い ■

会員の皆様の個人情報の利用は、以下のとぎのみに使用しております。

- 同窓会名簿の整備
- 同窓会報の送付
- 各種行事の開催案内送付
- 総会・役員会議等の開催案内送付

同窓会は事務局も含め、全て卒業生のみで運営されており、保有している会員の情報は、本人の同意を得ずに第三者への提供や開示などはいたしません。(事務局)

■ 写真及び随筆文等の募集 ■

皆様からの在校生の思い出やクラス会・同期会・近況報告などに関する写真や随筆・紀行文などを募集しております。文字数は最大1100字までとし、写真の挿入(ただし、1枚)がある場合は800字までとします。なお、投稿文は編集において編集担当者の判断により、加除させていただきますことでもありますので、ご了承ください。また、原則として投稿者の顔写真を掲載させていただきますので、ご承諾のうえご提供くださいますようお願いいたします。ご提供いただいた写真は、使用後返却いたします。

(企画・広報部)

編集後記

本年度も、多くの会員や学校関係者の皆さまのご協力により「東実同窓会報 No.37」を発行することができました。ご寄稿くださいました皆さま、また広告をご掲載くださいました企業の皆さまには、心より御礼申し上げます。

時代が変わる中で、同窓会の役割もまた新たな広がりを見せています。世代を超えた交流や情報発信を通じて、母校との絆、同窓生同士の絆をさらに深めていくことが、これからのテーマになるかと存じます。

本会報がその架け橋となり、未来へとつながる一歩となれば幸いです。

今後とも同窓会活動への変わらぬご支援、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

企画・広報部員一同

 東実同窓会報 No.37 企画・広報部		
責任者	深谷 和弘(副会長)	
部員 (常任幹事)	大平 貴志 長瀬 隆史 名取 正人 伊東 英明 高柳 直生 高山 俊一 加藤 知樹 宮崎 颯真	
発行日	令和8年3月1日	
編集	東実同窓会報 企画・広報部	
発行	東京実業高校同窓会	
発行人	酒井 利夫(会長)	
編集人	深谷 和弘(副会長)	
事務局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田 8-18-1 東京実業高等学校内	
	M-phone E-mail	080-1186-8945 tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp
	PC-mail	info@tojitsu-dosokai.com
ホームページ	 http://www.tojitsu-dosokai.com/	